

2011年6月16日

臨床場面での医療者と患者の相互理解はできるか。 中留 記録:稲岡

### Health2.0

患者の支援を目的に作成された。もともと WEB2.0.

患者の情報を引き出して、アセスメントして、介入する。聞き出す作業ではなく、本人の手でなんとかならないか。たとえばブログ等を使って、患者のデータを ICT 技術を使用し、個別的なものだけではなく、多くの人の情報を入手する。そして、それらのデータを研究につなげる。自分で記録しておきたいこと、多くのデータをまとめる、研究この3つをいつのツールでできる画期的なツール。

ビジネスとしては、あまりもうからない。

Google Health を立ち上げたが、利用者が少なくて、廃止。

### 熟練看護師—コミュニケーション論はやってるの？

援助論の中では、学んだが。コミュニケーション技法としては、かなりマニュアル化している。症状のない人へいかに医療へアクセスしてもらうかが今の課題。

### 医療者と患者のギャップを埋める

ボディランゲージや、状況を読み取ること。

いずれにしても経験をつまなくてはいけない作業。